

# 身近な人が当事者かも 私たちにできること

誰もが自分らしくいられる社会に向けて

LGBTの当事者は、私たちの周りにいます。そんな当事者たちは、実は私たちの何気ない発言に傷ついているかもしれません。みんなが自分らしくいられる環境にするために気をつけること、できることはないのでしょうか。

「いつかお嫁さんになるんだから」など、結婚や子育てを前提とした発言は、それに当てはまらない人にとって常に自分を否定されているように感じてしまいます。

## 勝手に暴露のジョーク命に関するジョーク

「おねえ」、「ホモ」、「レズ」、「おとこおんな」、「オカマ」、「オナベ」、「ニューハーフ」といった言葉は使わないようにしましょう。

また、「男の子だから泣かないの」、「その色づかい女の子らしくていいね」など、男女を前提とした言い回しや、

「いつかお嫁さんになるんだから」など、結婚や子育てを前提とした発言は、それに当てはまらない人にとって常に自分を否定されているように感じてしまいます。

## 勝手に暴露のジョーク命に関するジョーク

「おねえ」、「ホモ」、「レズ」、「おとこおんな」、「オカマ」、「オナベ」、「ニューハーフ」といった言葉は使わないようにしましょう。

また、「男の子だから泣かないの」、「その色づかい女の子らしくていいね」など、男女を前提とした言い回しや、

## LGBTは「見えないマイノリティ」

LGBTはカミングアウトしないと周囲の人は気づかない「見えないマイノリティ」です。気づかずにいるだけで、私たちの周りにはLGBTの当事者たちがいて、普段の何気ない会話に含まれて

## LGBTは

LGBTはカミングアウトしないと周囲の人は気づかない「見えないマイノリティ」です。気づかずにいるだけで、私たちの周りにはLGBTの当事者たちがいて、普段の何気ない会話に含まれて

て、本人の許可なく他の人に話さないようにしましょう。

## 身近な人の悩みを一緒に考えてみる

LGBTは「見えないマイノリティ」であり、私たちの友人や家族など、身近な人たちが当事者かもしれません。ですが、それに関わらず、身の周りの人が困りごとを抱えていないかという点が大切です。それで性のことで悩んでいると相談されたら、その人の性のあり方を受け入れ、解決策と一緒に考えることが大事ではないでしょうか。

誰もが自分らしくいられるために、周りの人たちが受け入れる姿勢をもつこと、差別しないことをアピールすることはよりよい社会を作っていくために必要ではないでしょうか。

## もし子どもがLGBTかもしれないと思うなら？

子どもが性的マイノリティかもしれないと思っても、子どもを問いただしたり、聞き出そうとしたりしてはいけません。親として気になることや生活上で困っていることがないかをまずは聞くのがよいのではないのでしょうか。

また、否定的なメッセージは心を閉ざすきっかけになる可能性がありますので、注意してください。

統計的にカミングアウトしただけ後に自殺未遂におよぶ割合が高く、子どもからのカミングアウトを拒絶してしまうと、子どもは居場所がなくなり、精神的に非常に辛い状況に置かれます。子どもが当事者だと打ち明けてくれたときのために、本やインターネットなどを通して、性は多様であるという考えを育んでおくことも大切です。子どもは未来を支えていけるように今から考えてみませんか。



みらい健康課 垣内 和美 保健師

## LGBTの自殺を防ぐ特効薬は、「周囲の理解」

LGBTの当事者の多くは、周囲から理解されない孤独感、他の人と違うことからくる自己否定感を感じており、日ごろから精神的な負担が大きい状態にあります。また特に、カミングアウト時での周囲の無知からくる性意識の押し付け、第三者への言いふらしなどをきっかけとして、自殺を試みる事例も多く見られます。性の多様性は何も悪いことではありません。LGBTの人があなたのことを信じて性自認や性的指向について打ち明けてきたときは、本人の気持ちを尊重し、否定せず話を最後までじっくり聞きましょう。



西田 健 紀宝町長

## 性別に関係なく「ひと」としてともに歩んでいける社会へ

近年、少子高齢化や情報化、国際化が進展するなかで、「多様性」という言葉が広がりを見せています。

性別、年齢、障がいの有無、国籍・文化的背景、性的指向・性自認など、多様な価値観や生活様式をもつ人々が、お互いを受け入れ、認め合うことで、社会の発展や新たな価値創出につながるのではないかと思います。

町では、「第2次紀宝町男女共同参画プラン」を策定して、一人ひとりが性別に関係なく「ひと」としてすべてにおいて尊重され、互いの個性や能力を認め合いながら、あらゆる分野に自らの意志で参画し、ともに歩んでいける社会をめざし、取り組んでいます。

一人ひとりの人権を尊重し、「自分を大切に、そして他人を大切にできる社会」をめざし、人と人がどこまで豊かに交流でき、みんなが輝けるまちの実現に尽力したいと考えております。

レインボーシールを貼って 支援者「アライ」になりませんか

「アライ」とは、同盟や味方を意味する英語の *alliance* が語源で、性的マイノリティを理解し支援するという意思をもつ人のことです。

アライになることは難しいことではなく、LGBTの味方になりたいという気持ちがあれば、誰でもなることができます。

支援の方法としては、基本的な知識を知ること、理解しようという姿勢を持つこと、周りにLGBTの当事者がいることを前提として話すことのほか、「アライ」であることを伝える虹色の物を身に付けるのも、簡単にできるアクションの一つです。

役場企画調整課では、フレンドみえが作製した「多様な性のあり方にYes!!」シールを配布していますので、ご希望の方は窓口までお越しください。

身の回りの物などにシールを貼って、当事者たちに支援したい、差別しないという姿勢を表し、誰もが不当な思いをせずに過ごせる社会に変えるきっかけにしてみませんか。